

やまぐち中山間地域づくり事例集 ～活動資金の調達方法編～



山口県総合企画部

中山間地域づくり推進課

平成27年3月

はじめに

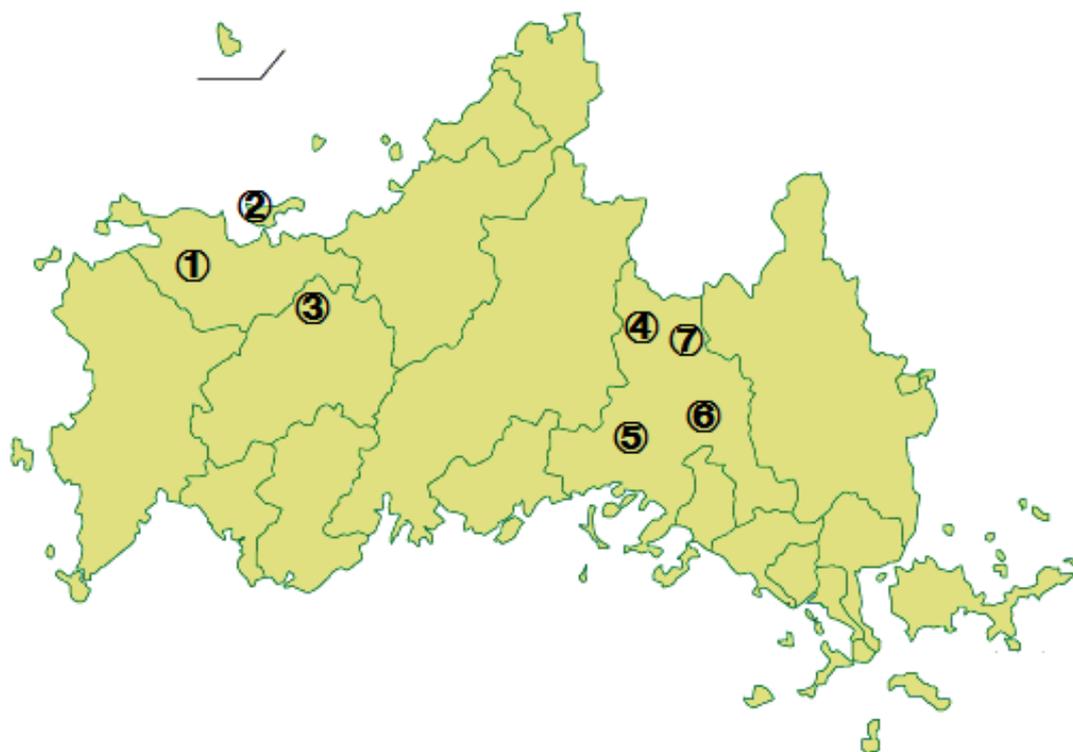
中山間地域では、過疎化・高齢化の進行により、地域によっては集落活動が困難な状況に置かれていますが、そうした中であっても、様々な地域づくり団体等が県内各地で自主的・主体的に地域づくり活動に取り組んでいます。

こうした団体が今後とも継続的に活動を展開していくためには、これを支える必要な財源を安定的に確保していくことが重要となります。

そこで、県では、地域づくりを進めていくに当たり必要となる活動資金を、地域づくり団体自らが工夫を凝らしながら安定的に確保・調達している特徴的な取組について、事例集として取りまとめました。

この事例集が地域づくり活動を進める上での一助となれば幸いです。

【事例掲載団体の所在地】



① NPO法人ゆうゆうグリーン俵山（長門市俵山地区）	1
～複数の収益事業を組み合わせた資金調達の方法～	
② 青海島共和国（長門市青海島地区）	3
～地域資源を活かした資金調達の方法～	
③ 秋芳八代めくもりの里（美祢市秋芳町八代地区）	5
～農産物を利用した資金調達の方法～	
④ 大潮の里をまもる会（周南市鹿野大潮地区）	7
～中山間地域等直接支払制度を活用した資金調達の方法～	
⑤ 大道理をよくする会（周南市大道理地区）	9
～イベントを運営するための資金調達の方法～	
⑥ 棚田清流の会（周南市中須北地区）	11
～地区外イベントを活用した資金調達の方法～	
⑦ 渋川をよくする会（周南市鹿野渋川地区）	13
～拠点施設建設に向けた資金調達の方法～	
○ミニ情報 ～県外の実事例のご紹介～	15

○複数の収益事業を組み合わせた資金調達の手法

NPO法人ゆうゆうグリーン俵山

(長門市俵山地区)

人口	1105人
世帯数	473世帯
高齢化率	47.3%
集落数	10

H27.2.1現在

NPO法人ゆうゆうグリーン俵山（以下「俵山」）は、もともと任意団体として都市住民との交流事業などに取り組んでいましたが、平成21年に新たな交流拠点として『里山ステーション俵山』が整備される際に、施設を活用した地域づくり活動を実施したいとの思いから、任意団体のメンバーが中心となって設立されました。俵山では里山ステーション俵山の指定管理をはじめ、複数の事業が展開され、それらの収益を組み合わせ、活動を継続しています。

1. 取組事業

事業名	事業内容	収入部分	支出部分
①福祉事業	・デイサービス (高齢者の閉じこもり予防) ・配食(弁当)サービス ・幼稚園給食サービス	・市委託料(幼稚園委託料含む) ・弁当等の販売収入(補助事業の個人負担分含む)	・人件費 ・材料費 ・燃料費など
②住民活動支援事業	・まちおこし活動(俵山温泉との協働) ・農地・水保全管理支払交付金の事務受託 ・地域おこし協力隊活動支援	・農地・水保全管理支払交付金の事務受託料 ・地域おこし協力隊活動費(市委託金)	・人件費 ・協力隊活動費など
③地産地消事業	・朝市の開催(月1回)・配食サービス ・ふるさと宅急便(年1回) ・イベント時の飲食店運営	・各事業ごとの販売収入 ・弁当等の販売収入	・人件費 ・材料費 ・運送費など
④グリーン ツーリズム事業	・都市住民との交流事業受入れ ・インターン大学生の受入れ ・体験型修学旅行の受入れ・各種体験の実施	・利用料や体験料	・体験に係る経費など
⑤環境保全事業	・竹林伐採・公園整備などの環境美化活動 ・道路サポート事業	・山口きらめき道路サポート事業の受託料	・人件費 ・燃料費など
⑥地域資源活用事業	・地域の特産品開発(柚子)やパンの販売	・販売収入	・人件費 ・材料費など
⑦過疎地有償運送事業	・デマンド交通サービス(週3回)	・市からの補助金 ・利用者からの運賃	・人件費 ・燃料費など
⑧まちづくり事業	・ホームページの更新、情報誌の発行 ・視察の受入れ	・視察料(昼食込)	・材料費 ・消耗品代など
⑨公共施設管理事業	・里山ステーション俵山の指定管理 ・俵山多目的交流広場の指定管理	・両施設の指定管理料	・人件費 ・水道光熱費 ・事務再委託料など

取組事業の一例

(参考資料)平成25年ゆうゆうグリーン俵山総会資料

1. デイサービス(高齢者の閉じこもり予防事業)

○取組の経緯

- もともと社会福祉協議会がこの事業を行っていたが、事業の継続が難しくなったので俵山で引き受けてくれないかとの相談があり、この事業を引き継いだ。

○実施状況

- 地区を2つに分けて週1回ずつ実施。レクリエーション等と昼食を提供し、1回あたり10人前後が利用している(送迎有)。

○取り組んでみて苦労したこと

- 事業を行う支援員の確保
⇒社協で支援員として活動されていた方(地区住民)にお願いして、俵山に移籍してもらうことで対応した。

○取り組んでみて良かったこと

- 高齢者の交流の場を継続することで閉じこもり予防ができている。